

災害に備える

災害発生時には、より早く最新の情報を入手することが、自分や大切な人の命を守ることに繋がります。今回紹介する情報媒体を活用し、緊急時の情報収集に役立てましょう。

土曜 2021年8月15日06時00分



■データ放送で災害情報を知る

町は、若手朝日テレビ（IAT）のデータ放送で「自治体情報」「緊急災害情報」を提供しています。このうち、「緊急災害情報」では、町から発令される災害時の避難情報などの各種情報が自動で表示されるほか、表示された情報の履歴も見る事ができます。災害時の町からの情報の取得にぜひご利用ください。



データ放送を見るために使うボタン例

▼データ放送による緊急災害情報の視聴方法

- ① テレビのチャンネルを若手朝日テレビ（地デジ5チャンネル）に合わせる。
- ② リモコンの「dボタン」（または「データ」）を押す。
※リモコンのボタン配置は機種によって異なります。データ放送に対応していないテレビでは利用できません。
- ③ 下の画面（写真①）が表示されます（一部表示内容が異なる場合があります）。



写真①

④ リモコンの「上・下ボタン」で画面左の赤枠を上下させ、「緊急災害情報」でリモコンの「決定ボタン」を押します。



写真②

■防災アプリで災害情報を知る

スマートフォンを利用している人は、町と防災協定を締結しているヤフー・ジャパン株式会社の「Yahoo!防災速報」で、町の防災情報を知ることができます。「Yahoo!防災速報」アプリは、iPhone（iPhoneアプリストア）版はApp Store（アプリストア）から、Android（アンドロイド）版はGoogle Play（グーグルプレイ）ストアから無料でダウンロードできます。



▼「Yahoo!防災速報」とは
急な大雨を予測する「豪雨予測」や「避難情報」、「緊急地震速報」など、防災情報をプッシュ通知（メッセージを自動的に表示する機能）で配信するサービスです。町から発令される「避難情報」なども配信されますので、防災無線が聞き取りづらい、聞こえない場合でも災害時の避難情報を知ることができます。

災害時避難について

▼災害時は今いる場所から状況判断を

避難所や緊急避難場所について、防災マップなどでは目安として行政区ごとに避難所や緊急避難場所を示していますが、これは必ずここに避難するというものではありません。災害が発生した場合は、今いる場所から近い避難所や緊急避難場所を利用してください。

▼日頃から災害に備えた想定を

避難所については、「安全な場所にいる人は避難場所に行く必要がない」「安全な親戚・知人宅も避難先となり得る」とされています。

崖の下や防災マップに記載された浸水想定区域に住んでいる場合などは、平時のうちから崖のそばでない場所や高い場所に住む親戚や知人と相談し、町からの避難情報が出ていない場合でも早目にそこに身を寄せるなど、自分の身を守る行動を心がけてください。



▼ハザードマップを活用し安全を確認

自分が住んでいるところや普段働いている場所、避難経路や親戚・知人宅が安全であるかを町の防災マップ等であらかじめ確認しましょう。

避難先に検討している親戚・知人宅が町外にある場合、国土地理院が公開している「重ねるハザードマップ」を使うと全国のハザードマップを地続きで確認することができます。避難経路を確認するのに便利です。パソコンやスマートフォンから「ハザードマップポータルサイト」で検索してください。



ハザードマップポータルサイト

- ① 自宅等が家屋倒壊等氾濫想定区域にないこと
- ② 自宅等に浸水しない居室があること
- ③ 自宅等に水が引くまでの間生活できるよう飲料水・食料などの備えが十分にあること

ただし、土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。
☎ 生活環境課（内線2131）